

令和3年度【美術】授業改善推進プラン

文京区立第八中学校

	課題の分析	授業改善の視点	成果と課題
1年生	<p>①多くの生徒が真面目な態度で作業に取り組んでいる。</p> <p>②積極的に質問をする生徒は少ないが、分かっていないままの生徒もいる。</p> <p>③作業内容を理解していない生徒がいて自分のペースで進めている。</p>	<p>①意欲的な生徒は、より高い表現力や技術力を追求できる態度をとっているため、できる限り細かな指導をし、より完成度の高い作品を目指す。</p> <p>②質問時間は設定してあるが、個別質問に際しては、より丁寧に答えていく。</p> <p>③机間指導を重点的に行い、個別に指導し、作業工程に沿って進められるようにしていく。</p>	
2年生	<p>①意欲的で真剣な態度で授業に取り組んでいる生徒がいる。</p> <p>②木彫をする場合では、細かなところを丁寧に作業できる生徒は多い。しかし、指先の力が弱い生徒もいる。</p> <p>③作業中に他へのアドバイスに夢中となり、私語へと発展しがちの生徒がいる。</p>	<p>①より高い表現力や技術力を身に付けられるように、机間指導をしていく。</p> <p>②彫刻刀の扱いを学習し、作業台を用意するなど、ケガのないような作業方法を身に付けさせ、安全に徹底した指導を続ける。</p> <p>③作業を進ませる指導をする。それでも改善できない場合は担任と連携して対応する。</p>	
3年生	<p>①美術全般に興味関心を持って授業に取り組んでいる生徒がいて、鑑賞力も高い生徒もいる。</p> <p>②絵画の技法としての奥行きや立体表現が理解できていない生徒がいる。</p> <p>③作業の進み具合に個人差が見られる。</p>	<p>①修学旅行など学校行事とタイアップした形で文化遺産などに興味を深くもたせる。</p> <p>②遠近法などを学び、より豊かに絵画を楽しむことができるようにする。</p> <p>③作業には、道具や材料によって得意不得意が生じてくる。苦手意識を和らげられるようにアドバイスをしていく。</p>	